ELECOM

Air@Hawk

Wireless LAN Access Point

11Mbps対応無線LAN　アクセスポイント

LD-WL11/AP2

User's Manual

エレコム株式会社

本製品の導入手順(アクセスポイントとして使用する場合)

1 **本製品を設置します。➡P15**

2 **Window設定ユーティリティをインストールします。➡P17**
◆Web設定ユーティリティを使用する場合は不要です。

3 **本製品の環境を設定します。**
Windows設定ユーティリティ ➡P19
Web設定ユーティリティ ➡P34
無線LANカードから本製品に接続して環境を設定する場合は、先に無線LANカードを使用可能な状態にします。また、無線LANカードの環境設定は初期値のままにして本製品に接続します。

4 **無線LANカードの設定をします。**
無線LANカードのドライバのインストール、ネットワーク設定、環境を設定します。無線LANカードから接続して設定する場合は、ここで環境設定を変更します。設定方法は無線LANカードのマニュアルをお読みください。

これで、本製品の導入は完了です。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

11Mbps対応無線LAN
アクセスポイント

Air@Hawk

LD-WL11/AP2

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、弊社ラニード無線LAN "Air@Hawk(エア・ホーク)" シリーズ11Mbps LANアクセスポイント"LD-WL11/AP2"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-WL11/AP2"をコンピュータ本体に導入するにあたって手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-WL11/AP2"を扱っていただくための注意事項が載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業を行って製品を使用するようにしてください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"LD-WL11/AP2"を「本製品」と表記しています。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号について

記 号	意　味
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
Memo	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

⚠ 警 告

本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項にしたがってください。
けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。

本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちにACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちにACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注 意

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。
- 高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- 直射日光のあたるところ
- 平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- 静電気の発生するところ、火気の周辺

もくじ

1 パッケージ内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業をはじめる前にすべてが揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

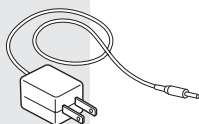
●アクセスポイント

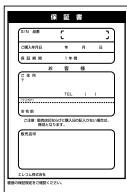
1台

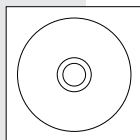
●ユーザーズマニュアル

1冊

●ACアダプタ

1台

●保証書

1枚

●ユーティリティディスク

CD-ROM　1枚

2 製品の保証とユーザ登録

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

■修理の依頼

「修理の依頼」(50ページ)を参照してください。

■その他のご質問などに関して

「サポートサービスについて」(50ページ)を参照してください。

ユーザ登録

ユーザサポートは、ユーザ登録されているユーザの方を対象におこなっているサービスです。ユーザ登録は、ホームページ上でのオンライン登録になります。

■ホームページからのオンライン登録

ユーザ登録は、ホームページからオンラインで登録します。以下のURLアドレスにアクセスし、必要事項を入力して登録してください。登録が完了すると、登録完了の電子メールが送信されます。ユーザ登録された方には、電子メールで新製品情報、サポート情報をお届けします。

エレコム ホームページアドレス
http://www.elecom.co.jp/

3 本製品の特長と動作環境

本製品の特長

●11Mbpsの高速通信と高い拡張性

IEEE802.11b準拠、10BASE-Tとほぼ同等の11Mbpsで高速に通信できます。本製品を使用するインフラストラクチャ・モードに対応します。また、本製品はRJ-45ポートを装備し、有線ネットワークとの接続も可能です。有線は10BESE-Tの伝送速度に対応しています。

●ノイズに強いスペクトラム拡散方式(DS-SS)を採用

通信方式には、スペクトラム拡散方式を採用しています。この方式は、特定の周波数成分がノイズで通信できなくても、別の周波数成分を使って通信できるノイズに強い通信方式です。また、この方式は軍事用の通信技術を使ったものなので盗聴されにくく、セキュリティに強い通信方式です。

●SSID、WEPに加えMACアドレスによるセキュリティを装備

SSIDやWEPによる暗号化機能はもちろん、本製品を使用する場合は、MACアドレスをフィルタリングすることにより利用者のアクセス制限を設定することができます。

●14chの多チャンネル切替

14chのチャンネルを使用できるので、チャンネルごとにワークグループを設定して不要なデータ送受信を減らすことができます。これにより、トラフィックが軽減されスループットを向上することができます。

●途切れにくいマルチチャンネル・ローミング機能

複数のアクセスポイントがある場合、電波の受信状態に合わせて、最良の受信状態にあるアクセスポイントに自動的に切り替わります。これにより、電波の届く範囲であれば移動しながらの接続でも通信が途切れる心配がありません。

●Webブラウザから設定できるWeb設定ユーティリティ

Windows対応の設定ユーティリティに加え、Webブラウザから設定できるWeb設定ユーティリティにも対応、OSに依存せずに設定が可能です。いずれの設定ユーティリティも簡単に設定できるようになっており、高度な知識は必要ありません。

●リピータ機能搭載により、異なるネットワークをブリッジ接続

有線LANで結ばれていない2つのネットワークグループを本製品でブリッジ接続することができます。ネットワークグループの間の距離が長い場合は、途中に本製品を設置することで電波を中継することもできます。

●アクセスポイントモードとリピータモードを同時使用可能

従来の製品では、リピータモードに設定した場合アクセスポイントとしては使用できなくなり、無線LANアダプタをインストールしたパソコン等でアクセスするにはアクセスポイントをほかに用意する必要がありました。
本製品では「アクセスポイント＋リピータモード」に設定することで、アクセスポイントモードとリピータモードの同時使用が可能になりました。

●セキュリティの強化を実現するAPステルス機能

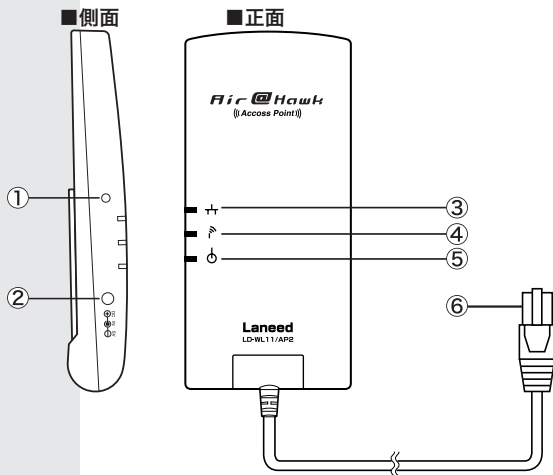
無線LANアダプタのユーティリティなどに付属のアクセスポイント検索機能で検索してもSSIDが表示されなくなり、アクセスポイントのSSIDを隠すことができます。また、SSIDを「ANY」に設定した無線LANアダプタでは接続できなくなるため、SSIDによるセキュリティが強化されます。

本製品の動作環境

本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98- NX
対応OS	Windows 98、Windows Me、WindowsNT 4.0、Windows 2000、Windows XP

※ ホームページにて、本製品に対する最新の対応OSおよびドライバのご案内をしています。

各部の名称とはたらき

①	Defaultボタン	本製品の設定を工場出荷設定に戻す場合に使用します。(49ページ参照)
②	DCアダプタジャック	本製品に付属のACアダプタのプラグを差し込みます。本製品に付属以外のACアダプタは使用しないでください。
③	Ethernet LED（ ）	コンピュータ本体とリンクが確立しているときに緑色に点灯します。データの送受信時は点滅します。
④	Wireless LED（ ）	無線でのデータの送受信があった場合に緑色に点灯します。
⑤	Power LED （ ）	ACアダプタから電源が供給されるされているときに緑色に点灯します。
⑥	イーサネットケーブル	10BASE-Tに対応したHUB等のMDI-X端子に接続します。パソコン等のMDI端子に接続する場合はストレート/クロス変換アダプタが必要です。

4 無線LANの基礎知識

本製品を使った無線LANの基本的なことについて説明します。

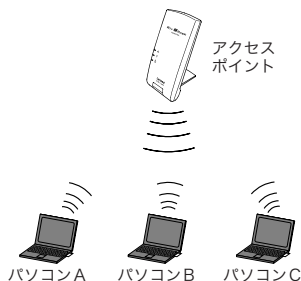
無線LANの2つの通信モード

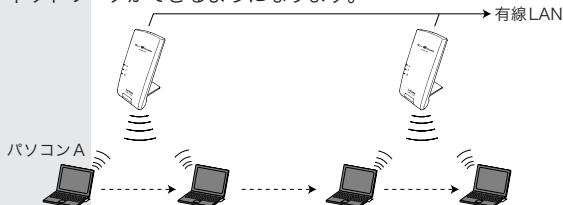
無線LANには2つの通信モードがあります。ひとつは、無線LANカードだけでネットワークを構成する「アドホック・モード」です。無線LANカードを取り付けたノートパソコン同士が自由にデータを交換できます。ネットワーク内にプリンタがつながったパソコンがあれば、共有設定にするだけで他のパソコンからもプリントアウトできるようになります。
もうひとつのモードは、「アクセスポイント」と呼ばれる中継装置を使う「インフラストラクチャ・モード」です。アクセスポイントにはイーサネットポートが用意され、ケーブルで有線LANに接続することができます。

●アドホック・モード (AdHoc Mode)

ノートパソコン数台だけでデータのやり取りをするのに適しています。プリンタやドライブを共有できるので、周辺機器を効率的に利用できます。各パソコンは対等の扱いになるピア・ツー・ピア接続になります。

●インフラストラクチャ・モード (Infrastructure Mode)

アクセスポイントを経由してパソコン同士を接続します。有線LANと接続し、相互に通信することもできます。また、ルータを利用すれば、各パソコンからインターネットに接続できます。アクセスポイントを複数設置すると、通信エリアが拡大するだけでなく、移動しながらネットワークを利用したときに、自動的に電波状態のよいアクセスポイントに切り替わるマルチチャンネルローミング機能が利用できます。

マルチチャンネル・ローミング機能

本製品を2台以上用意して、それぞれを有線LANと接続すると、ネットワークを利用した状態で移動しても、自動的に電波状態のよいアクセスポイントに切り替わる「マルチチャンネル・ローミング機能」を利用できます。この機能を利用すると通信範囲が広がるだけでなく、工場や倉庫のような大きな場所で移動しながらネットワークができるようになります。

無線LANのセキュリティ機能

無線LANは電波でデータを送受信するので、知らない間にネットワークに不正アクセスされたり、電波を盗聴される可能性があります。そこで、無線LANカードおよびアクセスポイントには不正アクセスや盗聴を防止するためのセキュリティ機能を備えています。

●SSID(Service Set ID)

もし、隣のオフィスが同じ製品もしくは同じ帯域を利用する無線LANを使用すると、ネットワークそのものが混信する恐れがあります。そこで他のネットワークと自分たちのネットワークを区別するためにSSIDと呼ばれるネットワーク名称を決めます。同じネットワークに所属するパソコンには、同じSSIDを設定することで、他のSSIDを持ったネットワークとは区別され、不正にアクセスされることを防ぐことができます。

●アクセスコントロール(MACアドレスフィルタリング)

ネットワークアダプタには、1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の番号が割り当てられており、世界中に同じMACアドレスを持つアダプタは存在しません。そこで、アクセスを許可する無線LANカードのMACアドレスだけを登録することで、その他のMACアドレスを持った無線LANカードからはアクセスできないように制限することができます。

Air@Hawkの無線LANカードのMACアドレスはカード裏面に記載されています。

●WEP(Wired Equivalent Privacy)

SSIDやアクセスコントロールは、不正アクセスを防止するための機能ですがそれだけでは、特殊な装置を持った第三者に意図的に盗聴される恐れがあります。Air@Hawkでは、さらにセキュリティを高めるために、WEPという機能を利できます。WEP はデータを暗号化する機能で、ユーザーによって決められる、40ビット (WEP64bit) あるいは104ビット (WEP128bit) の数値をキーとして暗号に利用します。同じネットワークの利用者だけに暗号を知らせることで、たとえ第三者が電波を盗聴してもデータを解読することができなくなります。

●APステルス機能

アクセスポイントのSSIDを隠します。無線LANアダプタのユーティリティなどに付属のアクセスポイント検索機能で検索してもSSIDを表示できなくなり、外部からの不正なアクセスを防ぎます。

5 本製品の注意事項

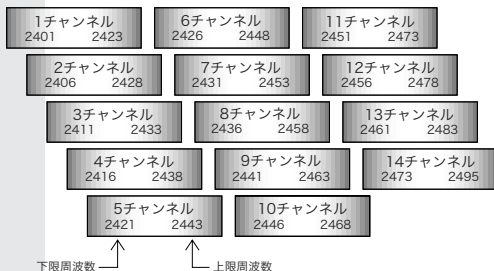
● 無線LANカードから本製品を設定する場合

無線LANカードを取り付けたコンピュータからユーティリティを起動して、はじめて本製品の環境を設定する場合は、無線LANカードの設定を初期値にしたまま、本製品に接続してください。その後、無線LANカードのユーティリティを起動し、無線LANカード側の設定を変更してください。

●WEPを設定したあとの注意点

無線LANカードおよび本製品の両方またはどちらかにWEPを設定すると、無線 LANカードの入ったコンピュータからアクセスポイント用のユーティリティを起動しても本製品を見つけることができません。有線LANから本製品に接続可能な環境であれば、有線LANのコンピュータからユーティリティを起動し、本製品に接続することができます。

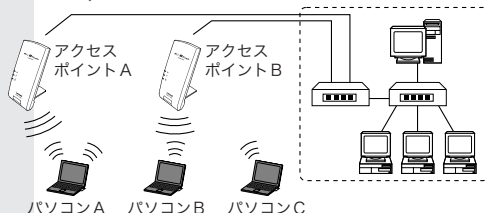
●同時に使用可能なチャンネルについて

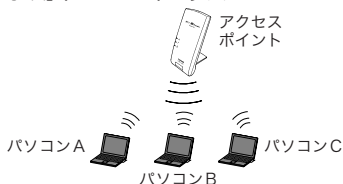
同時使用するチャンネルが使用する周波数が一部でも重なっていると、混信により正常に通信できなくなります。以下の表の帯域一覧を参考に、同時に使用するチャンネルの周波数が重ならないように、チャンネルを選択してください。

6 本製品を接続する／設置する

無線LANネットワークの構築例

本製品を使って無線LANを構築する例について説明します。本製品を有線LANに接続し、有線LANと無線LANを混在させる構成、無線LANだけの構成、２つの有線LANを無線LANでつなぐ構成などがあります。

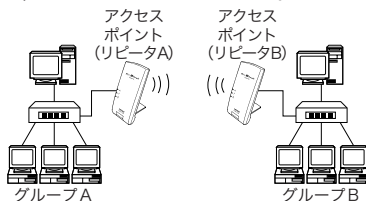
無線LANと有線LANを混在させる場合

有線LANとは、10BASE-Tや100BASE-TXなどのイーサネットで構成されたネットワークのことです。本製品は、10BASE-Tに対応したイーサネットと接続することで、有線LANと無線LANの相互でデータのやり取りができます。本製品を2台以上用意して、有線LANと接続するとアクセスポイント間を移動しながらネットワークができる「マルチチャンネル・ローミング機能」(10ページ参照)を使用できます。

無線LANだけでネットワークを構成する場合

無線LANだけでネットワークを構成する場合は本製品に付属の電源アダプタから電源を共有するだけです。ただし、本製品の設定を無線LANカードからおこなう場合に注意点があります。「5 本製品の注意事項」(12ページ)を参照してください。

2つのネットワークを無線LANでつなぐ場合

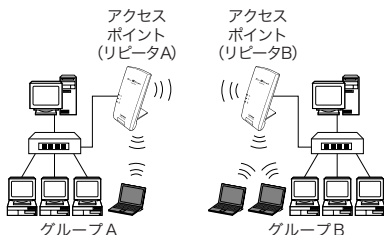
有線LANで結ばれていない2つのネットワークグループを本製品でブリッジ接続することができます。ネットワークグループの間の距離が長い場合は、途中に本製品を設置することで電波を中継することもできます。

・本製品は1対1でのリピータ機能で使用できます。
1対nのリピータ機能には対応していません。
・遠隔地とつなぐために中継用の本製品(リピータ)を設置する場合、中継点が多くなるほど速度が低下しますので、ご注意ください。

有線で接続できない2点間の屋内ネットワークもリピータ機能でデータのやり取りができるようになります。

距離が長い場合は、本製品を中間に設置することで電波を中継することができます。

Memo

中継用のリピータ(アクセスポイント)にも、モードなどの設定をする必要があります。設定用のパソコンを用意し、設定してください。

「アクセスポイント＋リピータモード」に設定すれば、リピータとして使用している場合でも、同時にアクセスポイントとして使用できます。

本製品を設置する

本製品を設置するための注意点と設置例を説明します。

設置の注意点

設置する場所については、以下のことにご注意ください。

●できるだけ見通しのよい場所に設置します

壁などの障害物があると電波が弱められ、通信距離が通常より短くなります。無線LANを使用する場所ができるだけ見渡せるような場所に設置します。

●使用範囲の中心にくるように設置します

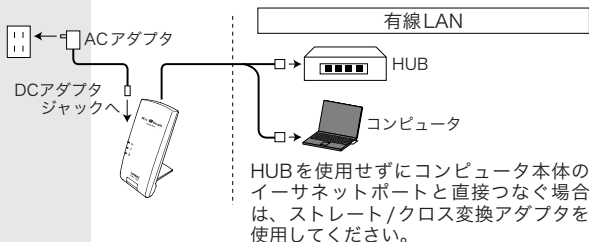
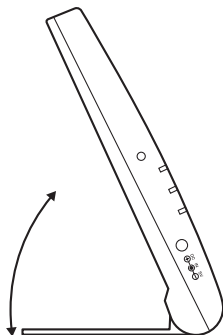
無線LANの使用範囲の中心に本製品がくるように設定します。本製品を複数設定する場合は、障害物などを考慮しながら、デッドポイント(電波が届かない場所)がなるべくできないように適切な場所に設置します。

●電波に影響を与えるものを避けます

スチール製品、電子レンジ、無線を使うコンピュータ周辺機器などの近くには設置しないようにしてください。混信など正常に通信できないことがあります。

本製品の設置例

1. 無線LANカードを使用するコンピュータから見通しのよい場所に本製品を置きます。不安定な場所や前ページの注意点に該当する場所には置かないでください。

2. 付属のACアダプタを接続します。有線LANやネットワーク機器をつなぐ場合はイーサネットケーブルを接続します。

3. 本製品を60゜程度の角度で起こします。

受信状態が悪い場合は、無線LANカードのユーティリティに[診断ツール]があれば、[各チャンネルの状況]を見ながら、角度を調整してください。

7 Windows設定ユーティリティをインストールする

付属のCD-ROMディスクの中にある本製品用のWindows設定ユーティリティをインストールする手順を説明します。この設定ユーティリティはWindowsから本製品を設定するためのユーティリティです。Webブラウザから設定する場合は、「10 Web設定ユーティリティのリファレンス」(34ページ)を参照してください。なお、説明の画面にはWindowsXPを使用しています。

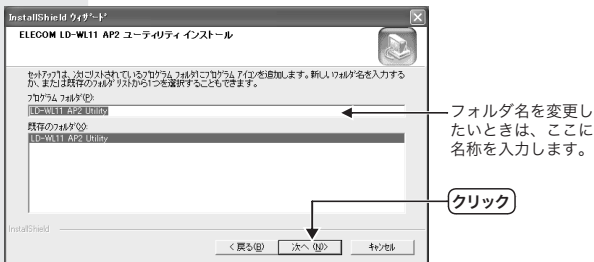
1 付属のCD-ROMディスクをドライブに入れます。

2 マイコンピュータなどからユーティリティディスクの内容を表示します。

3 「ap2」フォルダを開き、フォルダ内にあるsetup(.exe)をダブルクリックします。
インストーラが起動します。

4 インストール先を指定します。通常はそのまま変更する必要はありません。
[次へ(N)>]をクリックします。

5 インストール時に作成するフォルダの名称を指定します。通常はそのままで変更する必要はありませんので、[次へ(N)>]をクリックします。

インストールが始まります。

6 [完了]をクリックします。

自動的にインストールが完了します。続いてユーティリティ―の設定をおこないます。次の「ユーティリティーの内容を設定する」へ進みます。

Memo アンインストールするときは、[スタート]→[プログラム(WindowsXPをお使いの場合は[すべてのプログラム])]→[LD-WL11 AP2 Utility]→[Uninstall LD-WL11 AP2 Utility]を実行してアンインストールします。

8 基本機能を設定する(アクセスポイント機能)

本製品をアクセスポイントとして使用できるように、Windows設定ユーティリティを使って基本機能を設定します。Windows設定ユーティリティには、ここで設定する最小限の基本機能のほかに、WEPやMACアドレスフィルタリングを使うアクセスコントロールなどのオプション機能を設定ができます。オプション機能の設定については、「9 Windows設定ユーティリティのリファレンス」(23ページ)を参照してください。

Memo
無線LANカードより先に本製品の機能を設定します。
有線LANを使わずに無線LANからアクセスポイントにアクセスして基本機能を設定する場合、はじめて本製品の機能を設定するときは、無線LANカードの設定を初期値にしたまま本製品に接続します。本製品を設定するより前に、無線LANカードの設定を変更してしまうと、本製品が検出できなくなる恐れがありますので注意してください。

アクセスポイントを呼び出す

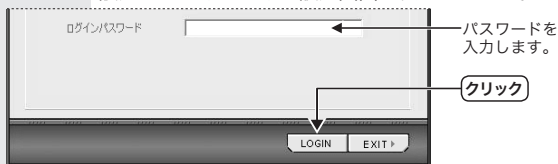
1 **[スタート]→[プログラム(WindowsXPをお使いの場合は[すべてのプログラム])]→[LD-WL11 AP2 Utility]→[Air@Hawk LD-WL11 AP2]を選択します。**
〈設定ユーティリティ〉画面が表示されます。

2 **「AP名」から本製品のアクセスポイントを選択します。**
「AP名」先頭には、アクセスポイントのMACアドレスが記載されています。本製品背面に記載されているMACアドレスと同じアクセスポイントを選択してください。

本製品背面に記載されているMACアドレスと同じアクセスポイントを選択してください。

Memo
アクセスポイントが見つからない場合はAP名から「再検索」を選択して、アクセスポイントを再検索してください。

3 **パスワードを入力し、 LOGIN をクリックします。**

Windows設定ユーティリティの設定画面が表示されます。

本製品をはじめて設定する場合は、「default」と入力してください。パスワードは大変重要なものです。本製品の運用を開始するときは、パスワードを必ず変更してください。パスワードを変更する方法については、「基本設定を変更する」(23ページ)を参照してください。

設定を表示する

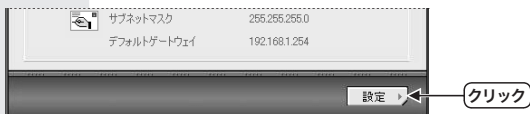
設定画面が表示された直後は、本製品の基本設定を表示しています。それぞれのボタンをクリックすると、基本の設定の他にも、セキュリティ関係の情報や、本製品のファームウェアのバージョン情報を表示できます。

基本設定	アクセスポイント名やSSIDなどを表示します。
セキュリティ	暗号化の種類やフィルタリングなど、設定されているセキュリティを表示します。
情報	ファームウェアやユーティリティーのバージョンを表示します。

運用に必要な情報を設定する

本製品の運用開始に最低限必要なSSIDとパスワードを設定します。より詳細な設定方法については、「9 Windows 設定ユーティリティのリファレンス」(23ページ)を参照してください。

1 Windows設定ユーティリティの設定画面を表示し、基本設定ボタンをクリックします。

2 設定 ボタンをクリックします。

3 SSIDを入力します。

Memo SSIDとは、通信する相手を特定するために使用する識別番号です。SSIDが一致した相手に限り通信を許可します。初期値のままで使用すると、思わぬデータの漏洩の可能性がありますので、本製品の運用前には必ずSSIDの値を変更してください。また、より高度なセキュリティを確保したい場合は、SSIDだけでなく、WEPを設定したり、

アクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定をしてください。詳しくは「セキュリティ（MACアドレスフィルタリング）を変更する」(29ページ)を参照してください。

4 パスワードを設定します。

Memo
・パスワードは半角英数字で32文字まで入力できます。
・大文字と小文字を区別します。
・パスワードは大変重要なものです。本製品の運用を開始するときは、初期値のままでは使用せずにパスワードを必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更するようにしてください。

5 [適用]ボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

Memo
設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。
その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

これで、本製品の運用開始に最低限必要なSSIDとパスワードの設定が完了しました。設定を完了するときは、[×]ボタンをクリックして設定ユーティリティーを終了します。引き続きその他の設定を変更する場合は、次ページの「9 Windows設定ユーティリティのリファレンス」を参照してください。

9 Windows設定ユーティリティのリファレンス

Windows設定ユーティリティーでは、次の内容が設定できます。

基本設定 ・・・・・ SSID、チャンネル、AP名、モード設定、IPアドレス、パスワード変更
セキュリティ・・・ WEP、MACアドレスフィルタリング、APステルス
情報 ・・・・・・・・・ ファームウェアのバージョン情報（表示のみ）

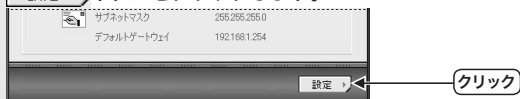
基本設定を変更する

アクセスポイント名やSSIDなどの基本情報を設定します。アクセスポイント名やSSIDなどの基本情報を設定します。

1 **Windows設定ユーティリティの設定画面を表示し、基本設定ボタンをクリックします。**

2 **設定ボタンをクリックします。**

3 **必要に応じて設定を変更します。**

Memo

- 設定を反映せずキャンセルする場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。Windows設定ユーティリティの設定情報の表示画面に戻ります。
- 設定を初期化する場合は、[デフォルト]ボタンをクリックします。

SSID

半角英数字32文字以内で入力します。大文字と小文字が区別されます。アクセスポイントに接続を許可する無線LANカードのグループと同じSSIDを設定します。SSIDが異なる無線LANカードのグループは接続することができません。例えばアクセスポイントのSSIDを「Laneed」に設定した場合は、無線LANカードのSSIDが「Laneed」のグループは接続できますが、無線LANカードのSSIDが「ELECOM」のグループは接続できません。

チャンネル

通信範囲に本製品(アクセスポイント)を2台以上設置する場合は、それぞれのアクセスポイントの使用チャンネルが重ならないように設定します。これは、同じ周波数帯域を使用するアクセスポイントが近くにある場合に混信することを避けるためです。
リピータ機能を使用する場合は、同じチャンネルに設定します。

AP名

アクセスポイントの名称をわかりやすい名称に設定できます。名称は半角英数字32文字までです。大文字と小文字は区別されます。(32文字以上入力しないでください。)

モード設定

アクセスポイントモード	本製品を無線LANのアクセスポイントとして使用します。
リピータモード	リピータ機能(14ページ参照)で使用します。
アクセスポイント + リピータモード	アクセスポイントモードとリピータモードを同時に使用します。(15ページ参照)

リピータモードを使用する場合、各リピータ(アクセスポイント)は同じチャンネルを使用するように設定してください。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ

アクセスポイントをIPアドレスで管理しない場合は、アドレスを変更する必要はありません。複数のアクセスポイントを管理したり、Web設定ユーティリティなどから本製品にアクセスする場合など、

正しいIPアドレスを必要とするときは設定を変更してください。IPアドレスの変更については、ネットワーク全体に影響を及ぼすことがありますので、ネットワーク管理者がいる場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

Memo 同一ネットワーク上で本製品を2台以上使用する場合は、本製品のIPアドレスを管理していない場合でも、それぞれが異なるIPアドレスになるように設定を変更してください。同じIPアドレスを持った製品が2台以上ある場合、Web設定ユーテリティで本製品にアクセスすることはできません。

パスワード

パスワードを初期値のままにしておくと、第三者にアクセスポイントの情報を盗まれたり、無断で設定を変更される恐れがあります。また、パスワードは定期的に変更してください。パスワードを入力する場合は、半角英数字で最大32文字です。大文字と小文字も区別されます。入力したパスワードはメモにして大切に保管してください。

4 適用 ボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

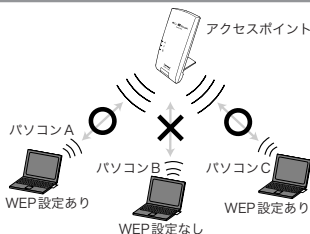
注意 設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、ボタンをクリックして設定ユーティリティーを終了します。

セキュリティ（WEP設定）を変更する

データを暗号化して送信するWEP機能を設定します。

WEPとは

無線LAN上でやり取りされるデータを盗聴から保護するためにWEP(Wired Equivalent Privacy)に基づいてデータを暗号化します。WEPの設定をしていないコンピュータは、データを読み取れなくなります。

WEP64bitとWEP128bitについて

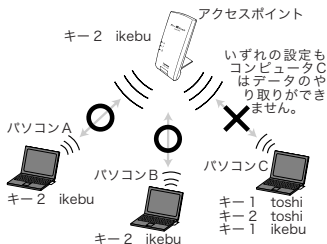
本製品のWEP設定には、WEP64bitとWEP128bitがあります。WEP128bitの場合はWEP64bitに比べ設定できる暗号キーが多いため、より高度な暗号といえます。
暗号化キーは､｢半角英数字｣｢16進数値｣のどちらかで入力します。

64Bit　・半角英数字の場合は、5文字入力します。
　　　　・16進数値の場合は、10桁入力します。

128Bit ・半角英数字の場合は、13文字入力します。
　　　　・16進数値の場合は、26桁入力します。

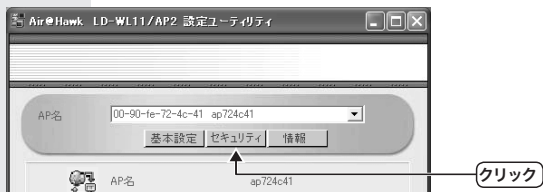
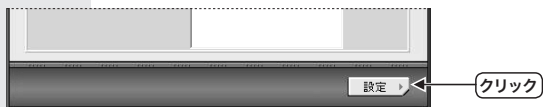
暗号キーの設定方法について

暗号キーはキー1～キー4まで、同時に4種類を登録できます。コンピュータAとコンピュータBの間で暗号化したデータをやり取りする場合は、本製品およびそれぞれの無線 LANカードの設定で同じキー番号(キー1～キー4のいずれか)に同じキーワードを入力します。

さらに使用するキー番号を有効にすることで、相互に暗号化されたデータを正しく受信できます。

WEPを設定していても、暗号キーが異なるとデータのやり取りはできません。 また、コンピュータCがキー2を使用するように設定していても、キーワードが異なればデータのやり取りはできません。キーワードが同じでも使用するキー番号が異なればデータのやり取りはできません。

セキュリティ(WEP設定)を変更する

データを暗号化して送信するWEP機能を設定します。

1 Windows設定ユーティリティの設定画面を表示し、セキュリティボタンをクリックします。

2 設定 ボタンをクリックします。

3 「WEP設定」をクリックします。

4 必要に応じて設定を変更します。

Memo 設定を反映せずキャンセルする場合は、キャンセルボタンをクリックします。Windows設定ユーティリティの設定画面に戻ります。

暗号化

使用する暗号強度を選択します。

暗号キー設定

文字列である「半角英数字」と「16進数値」のどちらの暗号キーで入力するか選択します。

キーの編集

暗号キーを入力します。必ず設定するキー番号にチェックを付けてから入力してください。チェックのついていないキー番号に入力して、適用ボタンをクリックしても設定は反映されません。

WEP64bit 半角英数字 の場合の設定例

WEP128bit 16進数値の場合の設定例

暗号化　無効　WEP 64bit　WEP 128bit
暗号キー設定　半角英数字　16進数値
キーの編集
キー1　01234　56789　ABCD　EF01　2345　6789
キー2
キー3
キー4

5 **[適用]ボタンをクリックします。**
本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

・1つのキーを入力するたびに[適用]ボタンをクリックして、入力を確定してください。チェックの付いていないキー番号のキーは変更されません。
・設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、[×]ボタンをクリックして設定ユーティリティーを終了します。

セキュリティ(MACアドレスフィルタリング)を変更する

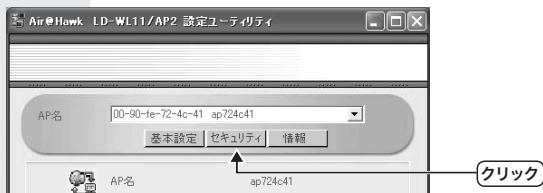
本製品に接続できる無線LANデバイスのMACアドレスを指定します。

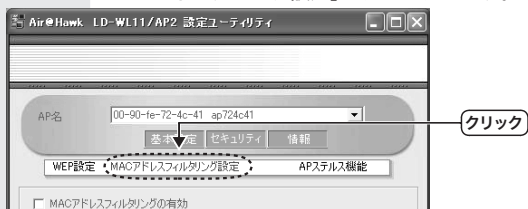
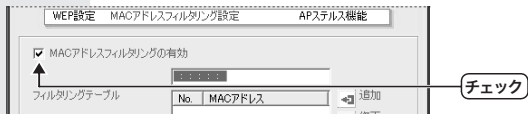
MACアドレスはネットワーク機能を持つカードにそれぞれ固有に割り当てられている番号です。MACアドレスフィルタリング設定で接続できる無線LANデバイスのMACアドレスを指定しておくことで、外部からのアクセスを拒否できます。

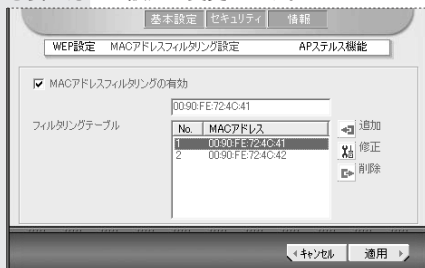
Memo

・無線LANイーサネットアダプタや無線LANデバイスのMACアドレスについては、それぞれ製品添付の取扱説明書を参照してください。
通常、MACアドレスは製品背面や側面に印刷されています。
・複数のアクセスポイントを使用している場合、各アクセスポイントのアクセスコントロールの条件を同じにするためには、すべてのアクセスポイントに同じ設定をする必要があります。

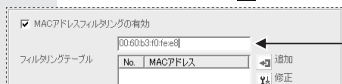
アクセスコントロールのもうひとつの使用例として、コントロールするMACアドレスをアクセスポイントごとに区別する使いかたがあります。こうすることで、アクセスポイントごとに接続できるコンピュータの台数を分散し、トラフィックを軽減できます。

1 Windows設定ユーティリティの設定画面を表示し、セキュリティボタンをクリックします。

2 設定 ボタンをクリックします。

3 「MACアドレスフィルタリング設定」をクリックします。

4 「MACアドレスフィルタリングの有効」をチェックします。

Memo
MACアドレスフィルタリングを無効にしたいときは、「MACアドレスフィルタリングの有効」のチェックを外します。

5 **必要に応じて設定を変更します。**

Memo 設定を反映せずキャンセルする場合は、キャンセルボタンをクリックします。Windows設定ユーティリティの設定画面に戻ります。

・アクセスを許可する無線デバイスのMACアドレスを追加するには

MACアドレスを入力し、ボタンをクリックします。

入力欄下のMACアドレスリストに入力したMACアドレスが表示されます。

・アクセスを許可した無線デバイスのMACアドレスを削除するには

MACアドレスリストから削除するMACアドレスを選択し、ボタンをクリックします。

・アクセスを許可した無線デバイスのMACアドレスを変更するには

MACアドレスリストから変更するMACアドレスを選択し、入力欄に表示されるMACアドレスを修正します。次に修正ボタンをクリックします。

選択したMACアドレスが変更されます。

6 適用 ボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

> **注意** 設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、×ボタンをクリックして設定ユーティリティーを終了します。

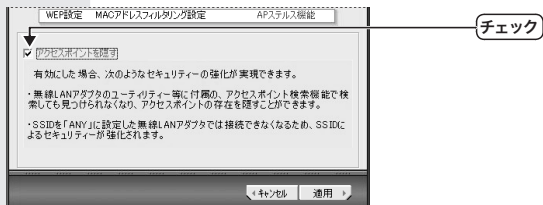
セキュリティ(APステルス機能)を変更する

アクセスポイントのSSIDを隠してセキュリティを強化するAPステルス機能を設定します。

1 Windows設定ユーティリティの設定画面を表示し、セキュリティボタンをクリックします。

2 設定 ボタンをクリックします。

3 「APステルス機能」をクリックします。

4 「アクセスポイントを隠す」をチェックします。

Memo 設定を反映せずキャンセルする場合は、キャンセル ボタンをクリックします。Windows設定ユーティリティの設定画面に戻ります。

5 適用 ボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、×ボタンをクリックして設定ユーティリティーを終了します。

10 Web設定ユーティリティのリファレンス

Internet ExplorerなどのWebブラウザから呼び出し可能なWeb設定ユーティリティが本製品のメモリに保存されています。Web設定ユーティリティでもWindows設定ユーティリティと同じ内容を設定することができます。

Web設定ユーティリティを使用する場合は、ご使用になるネットワークに対応したIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスの設定が正しくないとWebブラウザから設定ユーティリティにアクセスすることはできません。IPアドレスがご使用になるネットワークと異なる場合は、Windows設定ユーティリティを使ってIPアドレスを正しい値に変更してください。
(「IPアドレス」24ページ参照)

Web設定画面を呼び出す

Web設定ユーティリティのプログラムは本製品の本体内のメモリに保存されています。本製品の接続が正しく完了していないと呼び出すことはできません。

Memo 本製品が正しくネットワークに接続されていることを確認しておいてください。

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 アドレスにアクセスポイントのIPアドレスを入力し、[Enter]を押します。

Web設定ユーティリティのログイン画面が表示されます。

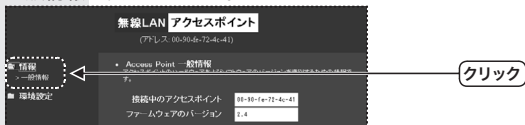
Memo 本製品のIPアドレスの初期値は「192.168.1.240」です。ご使用のネットワークに対応したIPアドレスに変更されている場合がありますので、ネットワーク管理者などにご確認ください。

3 「管理者パスワード」を入力し、「Login」をクリックします。

アクセスポイントの一般情報が表示されます。
本製品をはじめて設定する場合は、「default」と入力してください。
パスワードは大変重要なものです。本製品の運用を開始するときは、パスワードを必ず変更してください。パスワードを変更する方法については、次ページの「基本設定を変更する」を参照してください。

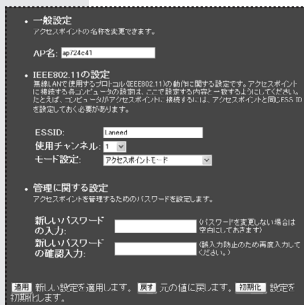
一般情報を表示する

本製品の情報を表示します。接続中のアクセスポイントのMACアドレスとファームウェアのバージョンが表示されます。

1 メニューから、「情報」→「一般情報」の順にクリックします。
一般情報が表示されます。

基本設定を変更する

アクセスポイント名やESS IDなどの基本情報を設定します。

1 メニューから、「環境設定」→「基本設定」の順にクリックします。
基本設定が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更します。

> **Memo**
> 設定を反映せずキャンセルする場合は、戻すボタンをクリックします。

AP名

アクセスポイントの名称をわかりやすい名称に設定できます。名称は半角英数字32文字までです。大文字と小文字は区別されます。

ESS ID
半角英数字32文字以内で入力します。大文字と小文字が区別されます。アクセスポイントに接続を許可する無線LANカードのグループと同じESS IDを設定します。ESS IDが異なる無線LANカードのグループは接続することができません例えばアクセスポイントのESS IDを「Laneed」に設定した場合は、無線カードのESS IDが「Laneed」のグループは接続できますが、無線LANカードのESS IDが「ELECOM」のグループは接続できません。

使用チャンネル
範囲に本製品(アクセスポイント)を2台以上設置する場合は、それぞれのアクセスポイントの使用チャンネルが重ならないように設定します。これは、同じ周波数帯域を使用するアクセスポイントが近くにある場合に混信することを避けるためです。
リピータ機能を使用する場合は、同じチャンネルに設定します。

モード設定

アクセスポイントモード	本製品を無線LANのアクセスポイントとして使用します。
リピータモード	リピータ機能(14ページ参照)で使用します。
アクセスポイント＋リピータモード	アクセスポイントモードとリピータモードを同時に使用します。(15ページ参照)

リピータモードを使用する場合、各リピータ(アクセスポイント)は同じチャンネルを使用するように設定してください。

新しいパスワードの入力/新しいパスワードの確認入力
パスワードを初期値のままにしておくと、第三者にアクセスポイントの情報を盗まれたり、無断で設定を変更されたりする恐れがあります。また、パスワードは定期的に変更してください。パスワードを入力する場合は、半角英数字で最大20文字です。大文字と小文字も区別されます。入力したパスワードはメモにして大切に保管してください。

3 適用 ボタンをクリックします。

Memo 設定を初期化する場合は、初期化 ボタンをクリックします。

4 設定確認画面が表示されたら、OKボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

Memo 設定画面に戻る場合は、キャンセルボタンをクリックします。

注意 設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

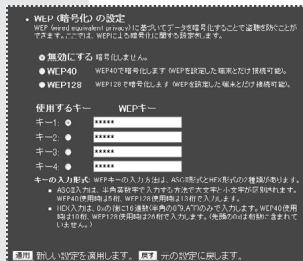
設定を完了するときは、×ボタンをクリックしてInternet ExplorerなどのWebブラウザを終了します。

セキュリティ（WEP設定）を変更する

無線LAN上でやり取りされるデータを盗聴から保護するためにWEP（Wired Equivalent Privacy）に基づいてデータを暗号化します。WEPの設定をしていないコンピュータは、データを読み取れなくなります。WEPについての説明は11ページを参照してください。

1 メニューから、「環境設定」→「WEP」の順にクリックします。

WEP設定が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更します。

- 設定を反映せずキャンセルする場合は、［戻す］ボタンをクリックします。
- WEP40はWEP64bitと同じものです。

無効にする /WEP40/WEP128

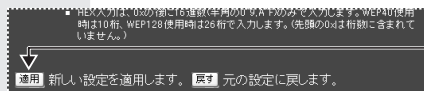
使用する暗号強度を選択します。

使用するキー

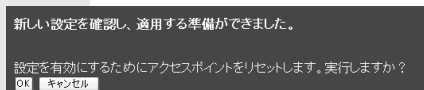
使用するキーを選択します。
WEPキーを4つまで設定しておいて、場合により簡単に切り換えることができます。

WEPキー

暗号キーを入力します。
WEPキーの入力方法は､ASCII形式とHEX形式の2種類があります。ASCII入力は、半角英数字で入力する方法で大文字と小文字が区別されます。WEP40使用時は5桁、WEP128使用時は13桁で入力します。
HEX入力は、0xの後に16進数(半角の0～9,A～F)のみで入力します。WEP40使用時は10桁、WEP128使用時は26桁で入力します。(先頭の0xは桁数に含まれていません。)

3 ［適用］ボタンをクリックします。

Memo 設定を初期化する場合は、［初期化］ボタンをクリックします。

4 設定確認画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

設定画面に戻る場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、ボタンをクリックしてInternet ExplorerなどのWebブラウザを終了します。

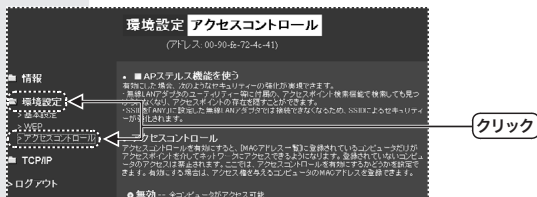
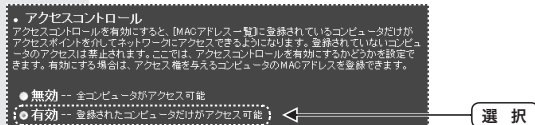
セキュリティ(MACアドレスフィルタリング)を変更する

アクセスコントロールとは無線LANカードのMACアドレスを登録することで、登録したMACアドレスを持つ無線LANカードだけがアクセスポイントに接続できます。
MACアドレスフィルタリングについて、詳しくは「セキュリティ(MACアドレスフィルタリング)を変更する」(29ページ)を参照してください。

1 メニューから、「環境設定」→「アクセスコントロール」の順にクリックします。

アクセスコントロールが表示されます。

2 「有効」を選択します。

Memo

MACアドレスフィルタリングを無効にしたいときは、「無効」を選択して［適用］ボタンをクリックします。

3 必要に応じて設定を変更します。

Memo 入力したMACアドレスの変更はできません。MACアドレスを削除して、MACアドレスを新規に追加してください。

- **アクセスを許可する無線デバイスのMACアドレスを追加するには**

MACアドレスを入力(MACアドレスが「0090FE000000」の場合は、「00-90-FE-00-00-00」と入力)し、[<< 追加]ボタンをクリックします。MACアドレス一覧に入力したMACアドレスが表示されます。

- **アクセスを許可した無線デバイスのMACアドレスを削除するには**

MACアドレス一覧から削除するMACアドレスを選択し、[削除 >>]ボタンをクリックします。
選択したMACアドレスが削除されます。

4 [適用]ボタンをクリックします。

5 設定確認画面が表示されたら、OKボタンをクリックします。
本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

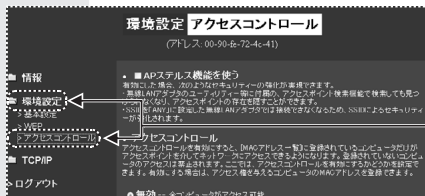
Memo 設定画面に戻る場合は、キャンセルボタンをクリックします。

注意 設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、×ボタンをクリックしてInternet ExplorerなどのWebブラウザを終了します。

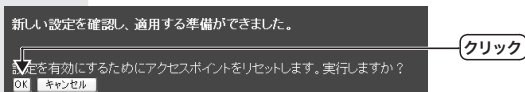
セキュリティ（APステルス機能）を変更する

アクセスポイントを隠してセキュリティを強化するAPステルス機能を設定します。

1 メニューから、「環境設定」→「アクセスコントロール」の順にクリックします。
アクセスコントロールが表示されます。

2 「APステルス機能を使う」を選択して、適用ボタンをクリックします。

3 **適用ボタンをクリックします。**

4 **設定確認画面が表示されたら、OKボタンをクリックします。**

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

設定画面に戻る場合は、キャンセルボタンをクリックします。

設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、×ボタンをクリックしてInternet ExplorerなどのWebブラウザを終了します。

TCP/IP設定を変更する

Web設定ユーティリティなどから本製品にアクセスする場合など、正しいIPアドレスを必要とするときに必要な、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

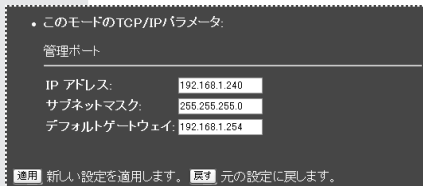
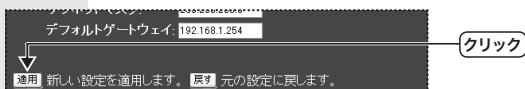
同一ネットワーク上で本製品を2台以上使用する場合は、本製品のIPアドレスを管理していない場合でも、それぞれが異なるIPアドレスになるように設定を変更してください。同じIPアドレスを持った製品が2台以上ある場合、Web設定ユーテリティで本製品にアクセスすることはできません。

Memo

アクセスポイントをIPアドレスで管理しない場合は、アドレスを変更する必要はありません。複数のアクセスポイントを管理したり、Web設定ユーティリティなどから本製品にアクセスする場合など、正しいIPアドレスを必

要とするときは設定を変更してください。IPアドレスの変更については、ネットワーク全体に影響を及ぼすことがありますので、ネットワーク管理者がいる場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

1 メニューから、「TCP/IP」→「基本設定」の順にクリックします。
TCP/IPパラメータが表示されます。

2 必要に応じて設定を変更します。

Memo 設定を反映せずキャンセルする場合は、[戻す]ボタンをクリックします。

3 [適用]ボタンをクリックします。

4 設定確認画面が表示されたら、OKボタンをクリックします。

本製品に設定を適用し反映されると、パスワード入力を求める画面に戻ります。

Memo 設定画面に戻る場合は、キャンセルボタンをクリックします。

注意 設定が反映されるまで10秒から30秒ほど時間がかかります。その間は本製品の電源をOFFにしないでください。

設定を完了するときは、×ボタンをクリックしてInternet ExplorerなどのWebブラウザを終了します。

付録 1 こんなときは

●本製品が正常に動作しない。

①ACアダプタを接続していますか。本製品は付属のACアダプタから電源を供給する必要があります。

②無線LANカードは正常に動作していますか。無線LANカードのプロパティを見るなどして無線LANカードのドライバが正しくインストールされているか、確認してください。詳しくは無線LANカードのマニュアルをお読みください。

③無線LANカードのユーティリティでの設定は正しいですか。設定が正しくないと本製品を見つけることができないなどのトラブルが発生します。詳しくは無線LANカードのマニュアルをお読みください。

●無線LANカードから本製品(アクセスポイント)を見つけられない。

①通信モードを正しく設定していますか。無線LANカードの設定で、通信モードが「アクセスポイントを使用しない」に設定しされていると、本製品を見つけられません。本製品を使用して通信する場合は、「アクセスポイントを使用する」に設定してください。

②無線LANカードから本製品の機能を設定をする場合、本製品の設定をする前に、無線LANカードの設定を変更していませんか。新規導入時に無線LANカードから本製品の機能を設定する場合は、無線LANカードの設定を初期値にしたまま、本製品に接続します。本製品を設定するより前に、無線LANカードの設定を変更してしまうと、本製品を見つけることができません。このような場合は、無線LANカードの設定をSSIDを「使用しない」、WEP使用を「無効にする」にした状態で接続してください。

③無線LANカードのSSIDと本製品のSSIDが異なると、無線LANカードから本製品を見つけることができません。このような場合は、無線LANカードのユーティリティの〈ネットワーク設定〉画面でSSIDを、いったん「使用しない」に設定してください。本製品の近くで、設定を変更した無線LANカードからアクセスすると接続できるようになります。

④無線LANカードだけ、または本製品だけにWEPを設定していませんか。一方だけにWEPを設定している場合は、無線LANカードから本製品を見つけることができません。そのため、無線LANカードから本製品の設定を変更することもできなくなります。このような場合は、有線LANから本製品に接続して設定を変更してください。

●無線LANカード⇔本製品(アクセスポイント)は正常に動作しているが、ネットワークが見えない。

無線LANカードの入ったコンピュータのネットワーク設定で、実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか。プロトコル(TCP/IPなど)、クライアント(Microsoft Networkクライアントなど)、サービス(Microsoft Network共有サービスなど)を環境に応じて設定する必要があります。また、TCP/IPを使用する場合は、IPアドレスに関する設定が必要です。

●本製品の他にも無線LANアクセスポイントがある環境で、無線LAN経由で本製品を設定する場合

1 無線LAN経由で、設定に使用するパソコンを本製品に確実に接続するために、以下のことを確認してください。

①設定に使用するパソコンの無線LANカード(アダプタ)を、本製品に設定したSSIDおよびWEPと同じ値に設定してください。

Memo 本製品を初めて設定する場合は、次の値に設定してください。

SSID	Laneed
WEP	無効

②他のアクセスポイントが本製品と同じSSIDに設定されていないか確認してください。同じSSIDに設定されているアクセスポイントがある場合は、電源を切るか、またはSSIDを別の値に変更してください。使用中などで電源を切ったりSSIDを別の値に変更できない場合は、そのアクセスポイントより設定に使用するパソコンの無線LANカード(アダプタ)の方が近くなるように、本製品を置いてください。

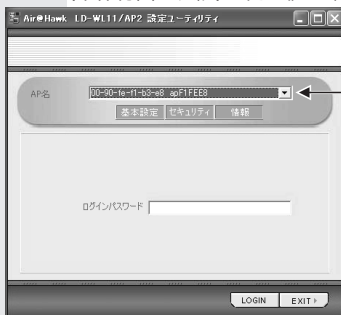
Memo 同じSSIDのアクセスポイントが複数ある場合は、電波の強い方のアクセスポイントにつながります。

また、無線LANカード(アダプタ)の設定ユーティリティに接続先のアクセスポイントのMACアドレスが表示される場合は、本製品のMACアドレスが表示されているか確認してください。

2 Windows設定ユーティリティを使用する場合、Windows設定ユーティリティの「AP名」欄に本製品のMACアドレスが表示されているか確認してください。

①パソコンに本製品のWindows設定ユーティリティをインストールします。(インストール方法は本製品のユーザーズマニュアルを参照してください。)

②本製品のWindows設定ユーティリティを起動します。

③「AP名」欄に表示されたMACアドレス(000-90-fe-XX-XX-XXなどの16進数値)が、設定しようとしている本製品のMACアドレス(本体背面に表記)と同じ値か確認します。

・「AP名」欄に何も表示されない場合は、右側の▼をクリックし、「再検索」を選択して、再度アクセスポイントを検索してください。

・「AP名」欄に何も表示されなかったり、MACアドレスが違う場合は、アクセスポイントが見つけられないか、違うアクセスポイントにつながっています。**1** の②を参考にして、設定に使用するパソコンが本製品に接続できるように設定し直してください。

④基本機能については「8 基本機能を設定する(アクセスポイント機能)」(19ページ)、オプション機能については「9 Windows設定ユーティリティのリファレンス」(23ページ)を参照して、設定します。

3 WEB設定ユーティリティを使用する場合は、設定に使用するパソコンと本製品のIPアドレスが同じネットワークのIPアドレスになっているか確認してください。

①設定に使用するパソコンのネットワークのプロパティ（各OSの説明書やヘルプなどを参照)で、IPアドレスとサブネットマスクを本製品に設定したIPアドレスのネットワークと同じネットワークになるように設定してください。

Memo 本製品を初めて設定する場合は、次の値に設定してください。

IPアドレス	192.168.1.n (nは240以外で、本製品の有線LANケーブルが接続されたネットーワーク上の機器のアドレスと重ならない値です。不明の場合は本製品の有線LANケーブルは接続しないでください。)
サブネットマスク	255.255.255.0

②Internet ExplorerなどのWEBブラウザを起動し、「アドレス入力」欄に次のように入力し、入力したアドレスに移動してください。（インターネットエクスプローラーの場合は、[移動]ボタンをクリックするか、リターンキーを押します。）

http://（設定したIPアドレス）

Memo 初めて本製品を設定する場合は、

http://192.168.1.240

と入力します。

③設定画面が表示されたら、「10 Web設定ユーティリティのリファレンス」(34ページ)を参照して、設定します。表示されなかった場合は 1 の②を参照して、設定に使用するパソコンが本製品に接続されているか確認してください。また、IPアドレスが正しいかもう一度確認してください。

Memo 本製品の設定値がわからなくなった場合は、次ページの「設定がわからなくなってしまった。」を参照して、設定値を工場出荷時の設定に戻し、上記 Memo の「初めて本製品を設定する場合」を参考にして設定をおこなってください。

●設定がわからなくなってしまった。

工場出荷時の初期設定に戻し、もう一度本書を参照して設定しなおしてください。
次の手順で本製品を工場出荷時の初期状態に戻します。

①電源コネクタを本体から抜きます。
②本体側面のDefaultボタンを押しながら電源コネクタを挿入し､本体電源を投入します。(Defaultボタンはまだ放しません)
③そのまま、3秒以上押し続けます。
④Defaultボタンを放します。
⑤Defaultボタンをもう一度押します。
⑥そのまま10秒間待ちます。
⑦Ethernet LEDとWireless LEDが交互に速い点滅を始めたらDefaultボタンを放します。

以上で初期化作業は終了です。

次の初期設定に戻ります。

AP名	ap+MACアドレス下位24ビット(例：apF1FEEC)
パスワード	default
SSID(ESS ID)	Laneed
IP address	192.168.1.240
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254

付録 2 サポートサービスについて

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受けるためには、ユーザ登録が必要です。5ページをお読みになり、必ずユーザ登録を行ってください。

●Laneedサポートセンター

TEL：03-3444-5571　　FAX：03-3444-8205

受付時間：月〜金曜日　9:00 〜 12:00　13:00 〜 18:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

http://www.elecom.co.jp

●FAX情報サービス

製品に関する最新情報を24時間いつでもFAXでお届けします。お近くの下記サービス情報BOXセンターにお電話をおかけください。ガイダンスにしたがって取り出したいBOX番号をご指示ください。

東 京 03-3940-6000 ／大 阪 06-6455-6000 ／名古屋 052-453-6000
福 岡 092-482-6000 ／札 幌 011-210-6000 ／仙 台 022-268-6000
広 島 082-223-6000

メインメニュー　BOX 番号　5 5 9 9 0 0

※在庫・納期・価格などに関するお問い合わせは、各営業拠点へお願いいたします。

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記までご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

・住　　所　〒192-0904　東京都八王子市子安町3-5-2
　　　　　　　　　　　エレコム修理センター
・電話番号　0426-31-0271　　・FAX番号　0426-31-0272
・受付時間　月曜日～金曜日　　9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00
　　　　　（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く）

※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

・このマニュアルの45ページ「付録1.こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:
使用しているOS:
使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):
ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:
ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等):

●具体的な現象について

具体的な現象:
事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

付録 3 基本仕様

商品名	11Mbps無線LANアクセスポイント
製品型番	LD-WL11/AP2
規　格	IEEE802.11/IEEE802.11b，RCR STD-33 ARIB STD-T66
周波数帯域	2.4GHz（2.412 ～ 2.4835GHz）
チャンネル	1ch ～ 14ch
伝送方式	DS-SS方式（直接拡散スペクトラム拡散方式）
伝送速度	11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps
伝送距離	屋 内: 11Mbps（60m）、5.5Mbps（90m）、2Mbps（110m）、1Mbps （120m） 屋 外: 11Mbps（100m）、5.5Mbps（150m）、2Mbps（180m）、1Mbps （210m）
アクセス方式	インフラストラクチャ
アンテナ方式	ダイバーシティアンテナ（内蔵）
セキュリティ	SSID，WEP、MACアドレスフィルタリング、APステルス、パスワード管理
電源	DC5V / 2A
消費電力	最大4W(5V 800mA)
環境条件	動作時：温度0 ～ 55℃ / 湿度5 ～ 80%（結露なきこと） 保管時：温度–10 ～ 60℃ / 湿度5 ～ 80%（結露なきこと）
設定ユーティリティ対応OS	Windows 98, Windows ME, WindowsNT 4.0, Windows 2000, Windows XP
設定ユーティリティ対応機種	PC/AT互換機（DOS/V），NEC PC98-NX
付属品	ACアダプタ、CD-ROM（ユーティリティ 1枚）、ユーザーズマニュアル、保証書

11Mbps対応無線LAN アクセスポイント
LD-WL11/AP2

User's Manual
発行　エレコム株式会社
２００２年　8月２6日　第2版
２００２年１１月　5日　第3版